【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公開番号】特開2013-11662(P2013-11662A)
【公開日】平成25年1月17日(2013.1.17)
【年通号数】公開・登録公報2013-003
【出願番号】特願2011-142967(P2011-142967)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　7/34　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　13/36　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/353　(2011.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　7/11　Ｃ
Ｇ０３Ｂ　3/00　Ａ
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｈ
Ｈ０４Ｎ　5/335　５３０

【手続補正書】
【提出日】平成26年6月30日(2014.6.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０４】
基準部は、例えば、センサ列１０１－１のフォトダイオード１４１を示し、参照部は、センサ列１０１－２のフォトダイオード１４１を示している。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１３６】
そして、出力２０１Ａが閾値Ｔｈを超えるまでの経過時間が蓄積時間Ｔｆ１Ａとされ、出力２０１Ｂが閾値Ｔｈを超えるまでの経過時間が蓄積時間Ｔｆ１Ｂとされ、出力２０１Ｃが閾値Ｔｈを超えるまでの経過時間が時間Ｔｆ１Ｃとされる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８２】
そして、長蓄積測距センサＦのフォトダイオード１４１Ｆの出力がＡ／Ｄ変換されて、デジタルメモリ部１４４Ｆに記録される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２３８
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０２３８】
ステップＳ１３４において、蓄積を開始する短蓄積測距センサが存在すると判定された場合、ステップＳ１３５において、制御部５１は、時間（Ｔａ－Ｔｆ１＊）が経過した短蓄積測距センサの蓄積を開始する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５０】
すなわち、測距センサ対４１が短蓄積測距センサであるか、長蓄積測距センサであるかが判定される。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５１】
ステップＳ１０８において、測距センサ対４１が長蓄積測距センサであると判定された場合、ステップＳ１０９において、取得部５３は、該当する全ての測距センサ対４１を長蓄積測距センサとして取得する。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２５６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２５６】
このように、全ての測距センサ対４１が短蓄積測距センサである場合、より迅速かつ確実に測距センサ対４１の蓄積を実行することができる。